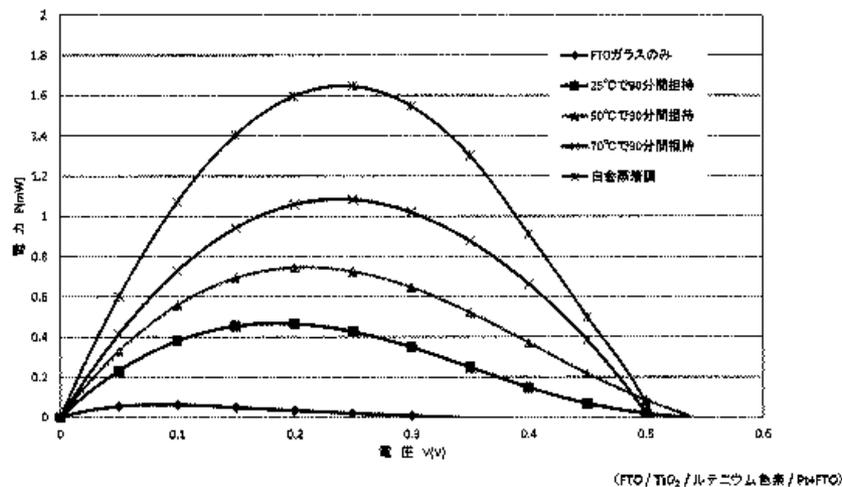


発明の名称	白金ナノ粒子を担持させた電極の製造方法		
出願人/権利人	バイオエポック株式会社	発明者	川本 昂、杉山 雄祐、高田 寛、鎌本 功
出願日	平成25年3月8日	出願番号	2013-047377
公開番号	2014-175186	特許番号	6252885
法的状態	登録中		

代表図

正極における白金ナノ粒子の触媒効果(還元作用)



□ 白金をナノ粒子化し、FTOに担持すれば
少量でも大きな電氣的出力が得られる。

最大出力
67%

発明の概要

優れた触媒作用を発揮する、白金ナノ粒子を担持させた電極およびその製造方法

特徴

白金電極は、一般に白金を材料にして作った電極で、白金が化学的に安定なため、電極表面や周辺で起こる化学的変化に侵されにくい長所がある。また、白金電極は、触媒としても他の金属触媒と比べて優れた活性を示すことが知られている。

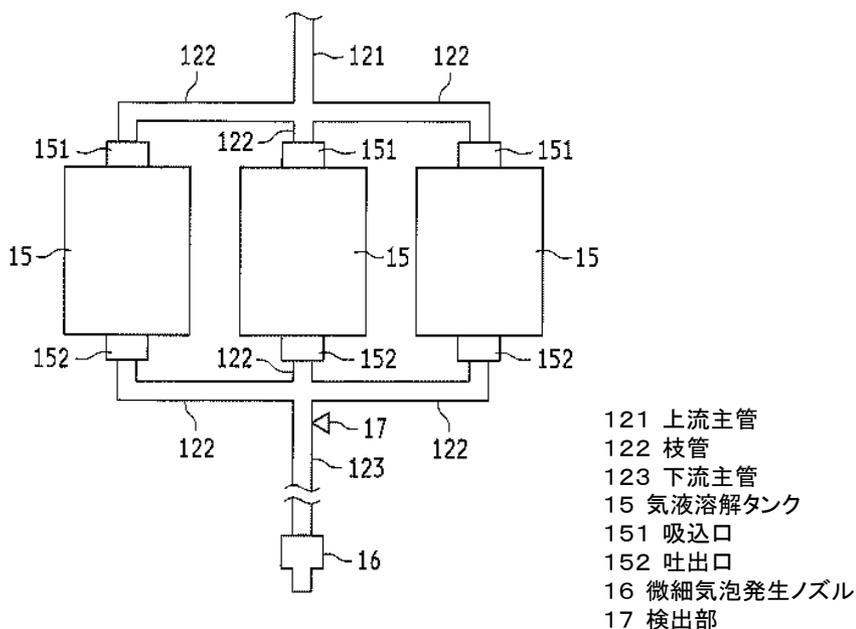
本発明は、白金ナノ粒子の固定化法を用いて電極を作製し、簡単に低コストで製造可能な、優れた触媒作用を発揮する白金電極およびその製造方法である。白金ナノ粒子を担持させた電極は、酸化還元反応に対して安定で触媒作用を必要とするあらゆる電極として利用できる。

業務用機械

異物が付着しても流せる微細気泡発生装置

発明の名称	微細気泡発生装置		
出願人/権利人	三相電機株式会社	発明者	曹 銀春、内海 伸昭
出願日	平成26年3月28日	出願番号	2014-069548
公開番号	2015-188859	特許番号	6243778
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

異物が付着しても気液溶解液体を微細気泡発生ノズルに流すことができる微細気泡発生装置

特徴

気液溶解タンクでは、タンク内や、吸込口、吐出口に、液体に含まれる異物が付着する場合がある。吸込口や吐出口に異物が付着した場合、吐出口から流出する気液溶解液体の流れが悪くなり、溶解液体が吐出口から流出しなくなる場合がある。

本発明は、気液溶解タンクに異物が付着した場合であっても、気液溶解液体を微細気泡発生ノズルに流すことができる微細気泡発生装置を提供することを目的とする。気泡発生装置、特に微細気泡発生装置に適用できる。

関連分野

農林水産、電気機械、建設・土木、医療・保健衛生

発明の名称	水中資源回収装置		
出願人/権利人	辻本 嘉義	発明者	辻本 嘉義
出願日	平成28年6月6日	出願番号	2016-112537
公開番号	2017-218762	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図(請求項1)

一端の上部に水面上の下部に水排出用開口とその上部に排気口を具備し他端の下部に資源を回収する資源回収開口を具備する**資源回収用管**と、

前記資源回収用管の内部を貫通し内部の水面が前記資源回収用管外の水面と同じである際前記水排出用開口を閉鎖する比重が水より小さな**内部貫通部材**と、

前記資源回収用管の他端の資源回収開口に接続された**可撓性回収官**或いは**可撓性ライザー官**と、

前記可撓性回収官或いは可撓性ライザー官の他端に接続され海上の浮体から金属線等を介して上下を含む三次元に移動可能で下方に開口を備えた**回収用柔軟性筐体**を備え、

前記資源回収用管内で前記内部貫通部材の上部の空気を前記排気口より排気することにより前記内部貫通部材を前記資源回収用管内の上部に移動させ前記資源回収用管内の水面を前記資源回収用管外の水面より上部に移動させることにより前記水排出用開口より海水又は湖水或いは川水を前記資源回収用管の外に放出して前記資源回収用管内の海水又は湖水或いは川水を徐々に上部に移動させ前記資源回収用管内の海水又は湖水或いは川水を循環することにより前記回収用柔軟性筐体により採取或いは採掘された資源が前記可撓性回収官或いは可撓性ライザー官を介して前記資源回収開口より前記資源回収用管内に採取或いは採掘されて前記資源を捕獲して前記資源を回収することを特徴とする**水中資源回収装置**。

発明の概要

資源回収用管を備えた海中資源あるいは海底資源等の水中資源回収装置

特徴

海底の有機物資源又は無機物資源は有効に活用する必要がある。従来から深海底地盤の掘削を行うときに用いるライザーシステムや海上に浮遊する海上構造物から垂下される蛇腹を具備する水中長大管が提案されているが、未だ実施されていない。

本発明による水中資源回収装置は資源回収用管を備えている。海中、湖中、及び川中の生物資源、植物資源、有機物資源又は無機物資源の採取、海底、湖底、及び川底の生物資源又は植物資源の採取、有機物資源又は無機物資源の採掘に適用可能である。

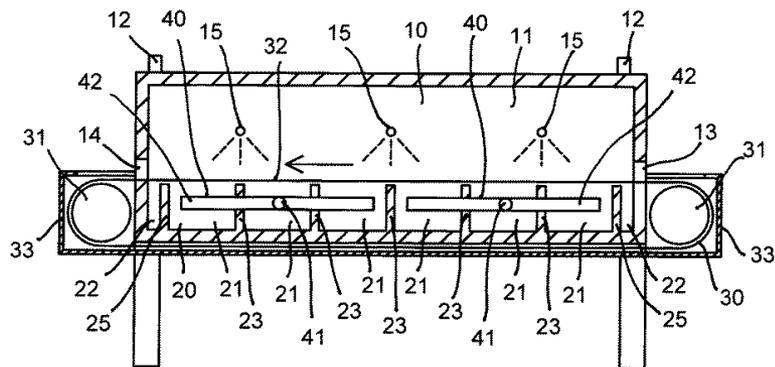
業務用機械

野菜の乾燥、焦げ付きを防ぐ蒸煮装置

発明の名称	野菜の蒸煮装置		
出願人/権利人	エースシステム株式会社	発明者	佐古 圭弘
出願日	平成28年6月18日	出願番号	2016-121307
公開番号	2017-221619	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図

1



- 1 蒸煮装置
 10 処理室 11 蒸気室 12 排気口 13 搬入口 14 搬出口 15 シャワーノズル
 20 蒸気供給室 21 過熱水蒸気が供給される小室 22 小室 23 隔壁 25 隔壁
 30 コンベア 31 ローラ 32 無端ベルト 33 カバー
 40 配管ユニット 41 横管 42 縦管

発明の概要

過熱水蒸気を利用した野菜の蒸し煮に適した連続処理が行える蒸煮装置

特徴

過熱水蒸気は高い顕熱を有し、短時間で食材を加熱調理できるという利点を有する。過熱水蒸気は100℃で蒸発した飽和水蒸気を定圧のまま、100℃を超える温度に加熱した蒸気である。しかし過熱水蒸気は、その温度が高くなると乾燥能力が強くなるという性質を有する。このために高温の過熱水蒸気を用いると表面から焦げ目が付いてしまう。

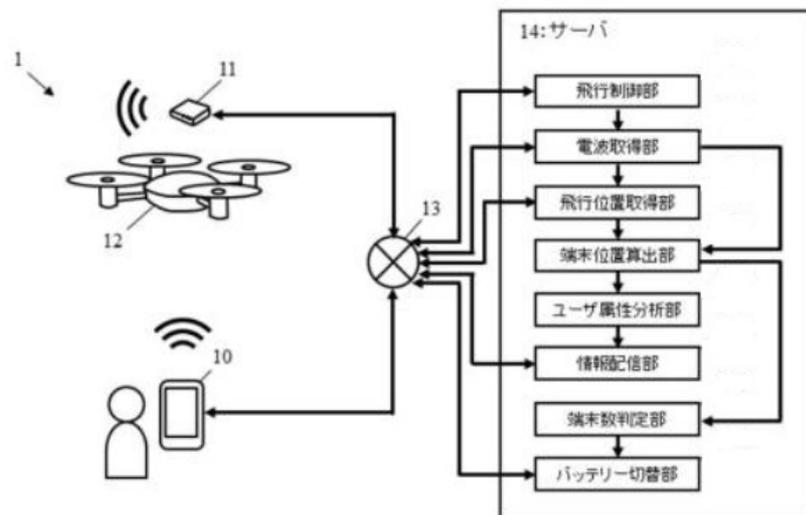
本発明は過熱水蒸気を利用した野菜の蒸し煮に適した連続処理が行える蒸煮装置である。野菜の乾燥、焦げ目を防ぎ、連続的に野菜の蒸し煮が好ましい調理状態で行われる。

関連分野

農林水産、飲食、電気機械

発明の名称	分析システム及び分析方法		
出願人/権利人	株式会社アドインテ	発明者	十河 慎治、荒川 邦雄、稲森 学、藤野 真吾
出願日	平成28年6月24日	出願番号	2016-125114
公開番号	2017-228178	特許番号	6020872
法的状態	登録中		

代表図



1 分析システム 10 ユーザ端末 11 無線機器
12 ドローン 13 ネットワーク 14 サーバ

発明の概要

上空からユーザー属性情報を具体的に分析することが可能な分析システム及び分析方法

特徴

近年、ユーザの居住エリアに特化した情報をそのユーザに提供し、ユーザにインパクトのある広告宣伝、販売促進を行うジオターゲティング(地域特定技術)が行われている。特化した情報を提供するために、より効果的なジオターゲティングを行う必要がある。

本発明は、上空から屋外を含む広範囲のユーザの行動情報を高精度に収集し、ユーザ属性情報を具体的に分析することが可能な分析システム及び分析方法である。ビル、マンション、店舗、通路、駅、ショッピングモール、山、川等の広範囲なエリアに有用である。